

○計画の構成イメージ

■計画（区域施策編）の基本的事項

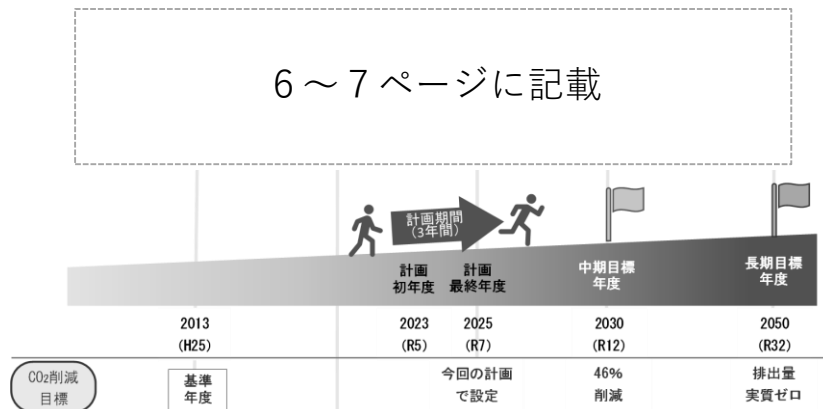
- ・ 背景、目的
- ・ 位置づけ
- ・ 計画の対象等

2～5 ページに記載

■松江市の現況

- ・ 地域の特徴（地勢・土地利用・人口・気候など）
- ・ 温室効果ガス排出量の状況
- ・ 前計画で掲げた目標、取り組み内容の評価・検証

6～7 ページに記載



■温室効果ガス排出量の削減目標・取り組み

- ・ 目標設定の考え方
- ・ 削減目標（2025・2030・2050年に向けて）
- ・ 目標達成に向けた方針・取組内容、ロードマップ
- ・ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

8～11ページに記載

■進捗管理体制

- ・ 行政、教育・研究期間。市民、事業者、まつえ環境市民会議等との推進体制

■資料編

- ・ 現況分析の詳細データなど

○各計画の説明

本計画の上位・関連計画の策定・改定による各計画の内容との整合を図る

○2021(R3)年3月

- ・松江市環境基本計画【上位計画】
 - ・松江市総合計画（MATSUE DREAMS 2030）【上位計画】
- ▶右図のように、地球温暖化対策について掲載

○2023(R5)年3月

- ・松江市再生可能エネルギービジョン【関連計画】
- ▶次ページに、再生可能エネルギー導入の方針を掲載



4-1 取り組みの体系

再生可能エネルギーの導入・普及に向けて取り組むうえでの基本方針と取組内容を体系的に整理します。

松江市再生可能エネルギービジョン (抜粋) 取り組みの体系

松江市再生可能エネルギービジョン

基本方針1 市民の理解促進と一般家庭への導入促進 31

情報発信や学習機会の充実を図り、市民の皆様が再生可能エネルギーに取り組む意識を高めます

- 情報発信の充実
- 学習機会の充実
- 一般家庭への太陽光発電設備等の導入支援

基本方針2 再生可能エネルギーを活用した地域産業の活性化 32

事業者を対象とした支援を充実・強化し、再生可能エネルギーに取り組む事業者を増やします

- 事業所への太陽光発電設備等の導入支援
- 再生可能エネルギー関連事業の費用負担に関する支援
- 情報発信・相談体制の充実
- 学習機会の充実

基本方針3 本市が有するポテンシャル・再生可能エネルギー資源の有効活用 33

建物・土地・自然資源などを有効活用し、持続可能な再生可能エネルギーの導入を目指します

- 〈太陽光発電の導入促進〉
- 一般家庭・事業所への太陽光発電設備等の導入支援(再掲)
- 公共施設等への太陽光発電設備の導入促進(PPA事業)
- 太陽光パネルの設置箇所の検討
- 太陽光パネルのリユースの推進

- 〈風力・水力・地熱・バイオマス資源の有効活用〉
- 風力発電の導入検討
- 水力発電の導入検討
- 地熱資源の有効活用
- バイオマス発電の安定稼働
- 水草・林地残材の有効活用方法の検討

基本方針4 地域振興・観光振興・防災力の向上 39

再生可能エネルギーの導入・普及に合わせて、地域振興・観光振興・防災力の向上を目指します

- 〈将来を見据えた、新たなエネルギー源の活用検討〉
- 水素・燃料アンモニア・海洋エネルギー(潮力・波力)の活用検討

- 地域振興
- 観光振興
- 防災力の向上

基本方針5 市民・地域・事業者・各種団体・行政の連携 40

本市に関わるすべての人が連携、協力しながら、脱炭素社会の実現を目指します

- カーボンニュートラルに関する連携協定
- 市民向け・企業向けセミナーの開催
- 異業種間交流の検討

○計画改定のポイント

1 環境問題の解決とSDGsの目標との関係性を考慮

- ・それぞれの取り組みを行うことで得られる効果や主体（誰をターゲットにした取り組みか）を整理
- ・補助制度・情報発信・市民と事業者をつなぐなどの具体的な行動を、わかりやすく掲載

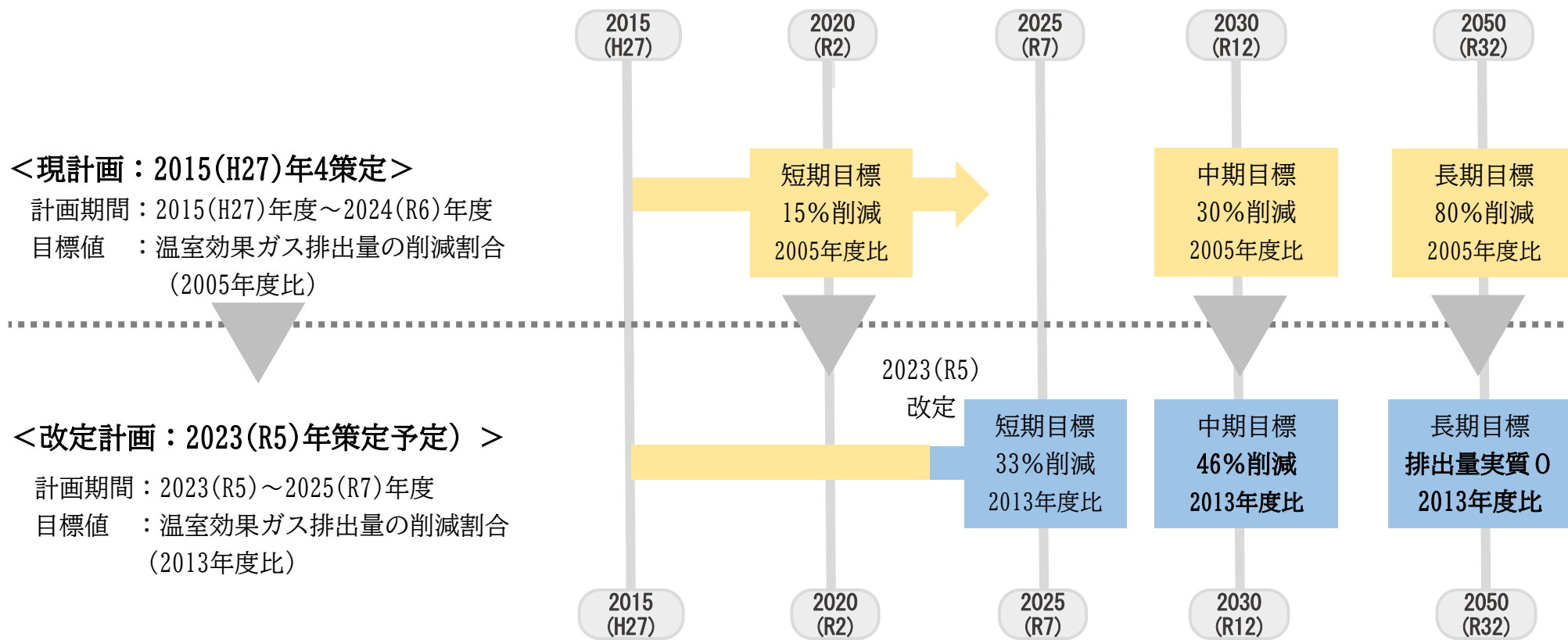


2 2050(R32)年カーボンニュートラルに向けた 温室効果ガス排出削減目標・施策（取り組み）内容を検討

- ・現計画を策定した2015(H27)年度から「温暖化・エネルギー分野」を取り巻く環境が大きく変化した点を考慮
- ・国は、温室効果ガスの排出削減目標「2030(R12)年度に46%削減、2050(R32)年度に排出量実質ゼロ」に設定
- ・松江市は、ゼロカーボンシティを表明（2020(R2)年12月）、2050年カーボンニュートラルを目指す

■計画（区域施策編）の基本事項 ―計画期間・目標年次

現在、2015（平成27）年4月に策定した現計画の計画期間内ですが、環境やエネルギーに関する情勢が大きく変化したため、松江市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定を行い、以下のように計画期間・目標年次を設定します。



■松江市の現況__地域の特性

産業分類の内訳

産業部門

…農林水産業・建設業・製造業など



業務その他部門

…事業所・商業・病院・公共施設など

※松江市：旅館・ホテル等含むため割合が大きい



家庭部門

…住宅内での活動（テレビ・家事など）

※松江市：人口が関係し、県より割合が大きい



運輸部門

…人の移動・物資輸送

※松江市：車の台数、人口等が関係し、割合が大きい



廃棄物部門

…廃棄物の埋立・焼却、下水処理

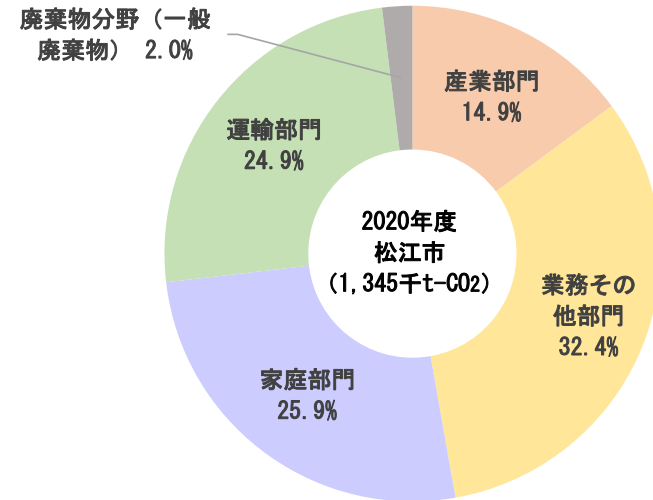


図 松江市の温室効果ガス（CO2）排出量
（部門別：2020年度）

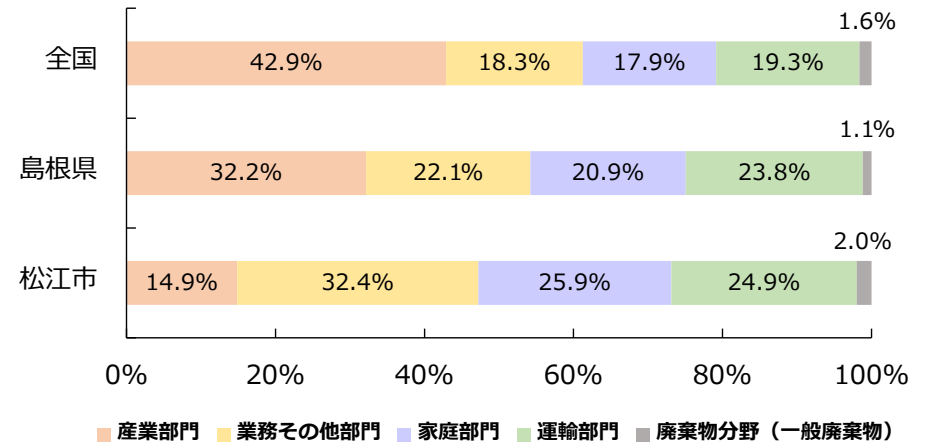


図 温室効果ガス（CO2）排出量の全国・島根県との比較
（部門別：2020年度）

■松江市の現況__地域の特徴

松江市の温室効果ガス（CO₂）排出量の推移（部門別）

- ・ 二酸化炭素の排出量は減少傾向。
2020(R2)年度には、1,345t-CO₂となった。（2013(H25)年度の実績値と比較すると20.7%減少）
- ・ 松江市からの排出量のうち、排出量が最も多い部門は「業務その他部門」となっている。
全国や島根県と比較すると、「産業部門」からの排出が少ないことが特徴。

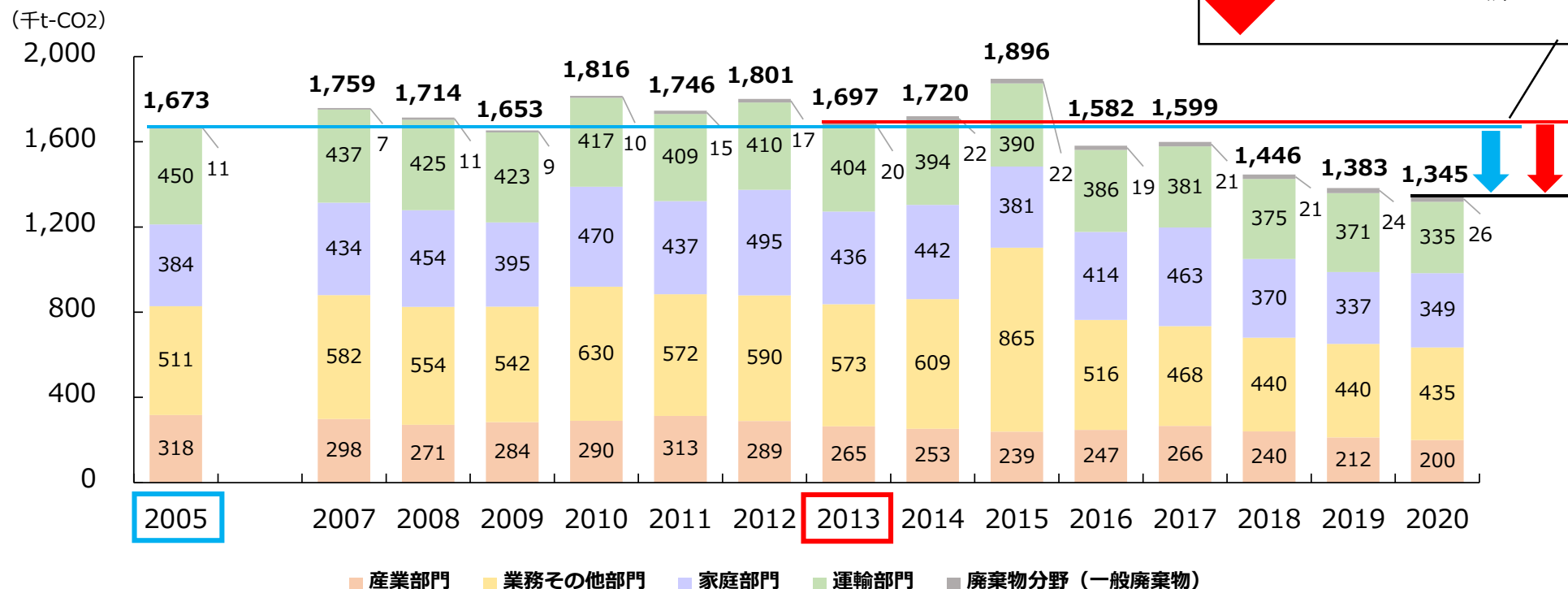
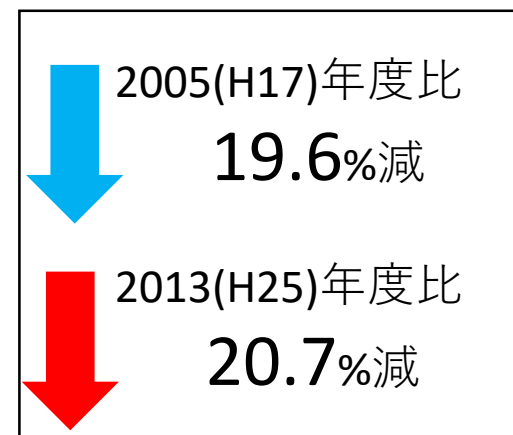
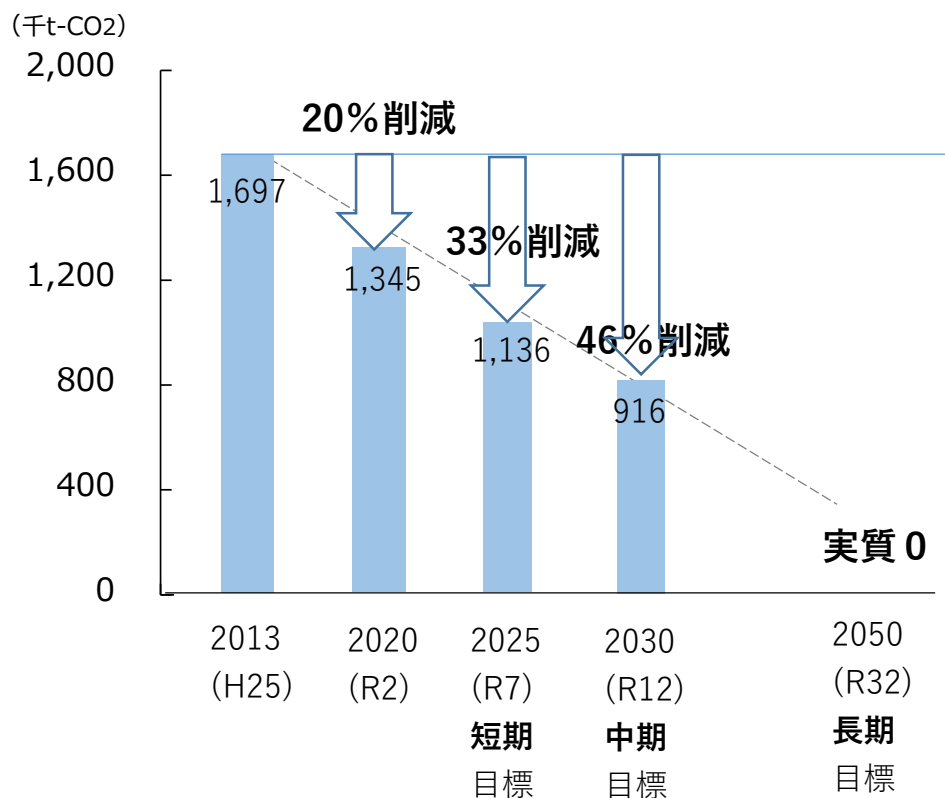


図 松江市の温室効果ガス（CO₂）排出量の推移

■温室効果ガス排出量の削減目標・取り組み

松江市の温室効果ガス（CO₂）排出量の目標



【取り組み】

行政、市民、事業者のそれぞれの取り組みを掲載

- 脱炭素に向けたライフスタイル、ビジネススタイルの普及
 - ・家庭における脱炭素型ライフスタイルの普及
 - ・事業所における脱炭素型ビジネススタイルの普及
 - ・市の率先行動
 - ・地球温暖化に関する環境学習の推進
- 再生可能エネルギー等の利用促進
 - ・再生可能エネルギー等の利用促進
 - ・次世代エネルギーに関する活用検討
- 環境にやさしいまちづくりの実現
 - ・環境に配慮した交通手段の利用促進
 - ・緑の保全、創出による地球温暖化対策
- 循環型社会の形成
 - ・4 R の推進
 - ・プラスチック対策
 - ・食ロス対策
- 気候変動への適応
 - ・地球温暖化及び気候変動に関する情報提供
 - ・自然災害への対策
 - ・暑熱対策の推進

・現計画で取り組んでいる行政、市民、事業者の取り組みのさらなる推進が必要

（参考）松江市の温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量の推計

松江市の部門別の温室効果ガス（CO₂）排出量_2013(H25)年度、2020(R2)年度

【部門】	①排出量 (実績値)	②排出量 (実績値)	①－②増減量・増減率	③排出量・増減率 (推計値)	(参考) 国の削減率（目安） ※2013年度比
(単位)	千t-CO ₂	千t-CO ₂	千t-CO ₂	千t-CO ₂	—
(年度)	2013(H25)年度	2020(R2)年度	(2013年度～2020年度)	2030(R12)年度	2030(R12)年度
家庭部門	436	349	▲87 (▲20.0%)	—	▲66%
業務その他部門	573	435	▲137 (▲24.1%)	—	▲51%
産業部門	265	200	▲65 (▲24.5%)	—	▲38%
運輸部門	404	335	▲69 (▲17.1%)	—	▲35%
廃棄物部門	20	26	6 (+30.0%)	—	▲15%
(合計)	1,697	1,345	▲352 (▲20.7%)	—	▲46%

（参考）横浜市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）抜粋

P.33【3，2030 年度の部門別削減目安】

（3）2030 年度トレンドケースの考え方をういた部門別削減目安の設定

2030（令和 12）年度の部門別削減目安については、以下の①から③の考え方により設定しています。

- ① 2030 年度 50%削減時の排出量は 1,079 万トンであるのに対して、トレンドケースでの排出量推計値は、1,236 万トン（▲43%減）と見込まれ、その差は 157 万トン
- ② 157 万トンは、家庭・エネルギー転換・運輸の 3 部門に対して、2013（平成 25）年度の排出量で按分し配分
- ③ なお、廃棄物部門及びその他 6 ガスの見込量については、国の削減率及び市の事務事業に基づく目標値から設定

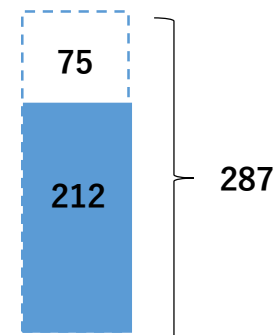


図 3-3 2030 年度トレンドケースから 2030 年度 50%削減に必要な追加削減量

（参考）家庭部門の温室効果ガス（二酸化炭素）削減量

松江市の家庭部門において、削減量の達成に必要な行動を見てみると以下のとおり。

- ・ 2030年度家庭部門の温室効果ガス国の削減目標 66% にするためには、2013年度比で287,000t-CO₂の削減が必要
- ・ 現状の見込みでは、2030年度削減量は、212,000t-CO₂（参考値：2013年度の▲48.6%）
- ・ 現状の取り組みに、さらに追加して削減する必要がある量は 75,000 t-CO₂（287,000 - 212,000 = 75,000 t-CO₂）
- ・ 松江市の世帯数 85,593世帯（2020年の国勢調査）から 1世帯あたり 0.876 t-CO₂（876 kg-CO₂）のさらなる削減が必要



取り組み内容		削減効果 kg-CO ₂ /年 (円/年)	
照明	電球型LEDランプに取り換える	52.8	(2,430円)
照明	必要のない照明はこまめに消す	11.6	(530円)
空調	冷房28℃、暖房は20℃を目安に設定する	49	(2,250円)
空調	冷暖房が必要のない時には消すように気を付ける	34.9	(1,610円)
空調	エアコンフィルターの掃除を月1～2回する	18.8	(860円)
台所	長時間使用しない電気ポットのコンセントは抜く	36.2	(2,900円)
台所	冷蔵庫は壁から適度に間隔をあけ設置し、詰め込みすぎないようにする	52.2	(2,400円)
台所	冷蔵庫の設定温度を適切にする	36.2	(1,670円)
車	発進する時はアクセルをゆっくり踏む、加減速の少ない運転を心がける	262	(13,540円)
車	アイドリングしないよう心がける	40.2	(2,080円)
風呂	風呂に入るときには間隔をあけずに入り追い炊きはしない	87	(6,880円)
洗濯	乾燥は自然乾燥と併用する	231.6	(10,650円)
家電	使わない時はコンセントを抜き、待機電力を少なくする	68.1	(3,132円)
合計		980.6	(50,932円)